

J.P.S Doc No. 3345-Ann 13

檢察測、又昨日第三三四五号 附屬書信類 第三号  
(シート、口供書)

一九四三年二月(日) マーヤン諸島(空母、一、中、代)ニ  
於ケルハルニ一海軍大將、報告、一件

Exhibit No.

大國長

D.P. 8 Doc No. 3345-Annex 3

A 16:31 (006)

米國太平洋艦隊 航空機 戦車部隊

艦 米國軍艦 エニタープライズ号

真珠湾 エニタープライズ号

一九四二年 二月九日

分類

第一機動部隊司令官ヨリ

米國太平洋艦隊司令長官へ

題 一九四二年二月一日、エニタープライズ号に行動

参照 (一) 米合衆国海軍條例第七二二条

(二) 一九四二年一月二十一日附小官、秘密連続番号

〇〇四号作戦命令第一一四二号

(三) 一九四二年一月二十一日附第十七機動部隊司

令官へ、小官、秘密連続番号〇〇三号

(四) 一九四二年一月附、太平洋艦隊司令長官電報

封入 (一) 一九四二年二月一日附行動に関するエニタープライズ号

司令官報告書及其同封物

一、参照(四)に作戦計画の過誤差あり行へ

敵地区へ、接近、一月三十一日午後(一)第一機動部隊

進路、南方真珠湾に於て電探器が敵哨艦に感受

せし外、一、行へ。右同封物 A、一部進路図に

之を示す

P2



ニ同封物ハエントプアズ子航空隊又戦隊ノ目的地ニ於ケル  
行動ノ詳細ヲ語ル。コニ合ヒタル、機動部ハ一及ハ  
三ノ爆果ノ結果ニ関スル報告ハ早ニ最初ノ急報ニ其  
クモニシテ、詳細ナル情報ハ之理カ第ニ達致ス。同  
封物ハ二月一日午後「エントプアズ」子對ニ爆果ヲ説明セシム  
當時ニラズバズト共ニリン艦船ヨリ彈着場所ニ爆果ノ大ニ數ナリ  
層明ラカニ示ス報告ノ得ラレルコトヲ知シテナル。モレ  
以希望具現ノ際ハ其ノ報告モ同標入手次第ニ達  
致ス。ン。

(四) 破壊若シハ損傷ヲ受ケタル沿岸設備

ハ等々。一見一切ノ設備ガ破壊セラル。同設備中ハ、二  
ロ、格納庫、燃料油槽、ガソリン貯藏所、  
倉庫、作業所及ビ兵舎アリ。ニロノ對空砲台  
及ビ一切ノ沿岸防備砲ハ沈黙セラレタ。放棄  
サル。

ロタロア

格納庫ニハ破壊サレ、工場地帯ニ於テハ、数多  
ノ建物ニ砲彈命中、炎上シ、二ノ燃料油槽庫ガ  
炎上リ。カレ島ノ無電所破壊サル。

(三) ロイ

格納庫ニハ破壊サル。彈藥庫積所ハ爆破セ、  
燃料ニ付テハ火ハ燃ルガマ、ニ放置置サル。無電  
所建物破壊サル。凡ソ、貯藏所及ビ倉庫ハ  
爆果ニ付テ爆発ニヨリ破壊サル。ロイ、東方島  
上ノ所ニ火出。

(四) ロビン。廣大ナル構内直東彈三發ヲ受ケ。

(五) ゴエゴエ。建物四棟破壊

(ハ) 破壊セラル敵飛行機

一ロイ。VF 戦機三機(東陸上)

VS 偵察爆撃機六機(地上東破)

又爆撃機一機(地上東破)

(ニ) 左ゼリン、PSP(四発)二機 水上東破

(三) 左。ナシ

(四) フロア。VF 戦機七機(東陸上)

又爆撃機五機(地上)

VF 戦機五機(地上東破)

又爆撃機一機(地上東破)

VF 戦機一機(空中ニテ損傷)

又爆撃機三機(東陸上)

又浮舟早登早葉機(東陸上)

(五) 海上

(二) 右統計中ニ損失確認ノ十三隻、船舶及ビ三十五

機ノ飛行機ヲ含ム。更ニ四隻乃至五隻ノ船舶ガ

程度不明ノ損傷ヲ受ケ、サトモ其ノ中二隻又ハ

沈没状態ニナリ、又ロイ及フロアノ飛行機ニ隣接

セル格納庫及散在セル場ニアリン機数不詳ノ

飛行機破壊若シハ損傷ヲ受ケタルモノト思ハル

二〇、敵ニ関スル推録

(1) ロイ及フロア共ニ最近建設ノ完全ナル航空基

地ヲ有セリ。オストジョー又新施設ヲ有セリ。操

縦兵報告ニヨリバフロア其地ノ方、ブー止島

ヨリモ北ニ備ヨシ。



9. P. S Doc No. 3345 - Annex 3

- (四) 「ロイ」フワジ「シー」マロフ「オト」ヤ「ト」タ「オ」レ「ト」  
ニ高射砲置たり。三時。五時。三時砲
- (五) 「ロイ」フワジ「シー」マロフ「オト」ヤ「ト」タ「オ」レ「ト」  
ニ高射砲置たり。三時。五時。三時砲
- (六) 傘状型ノ対空砲火一発射、手並感心セズ。
- (七) 敵VF戦闘機九六型又九七型多分〇〇型モ  
交へたり。
- (八) 敵VF戦闘機ノ高度、操縦技術及相違ハ  
上ヨリ有ス、但シ下中下程、速度ハナシ。
- (九) 双発爆撃機爆撃ノ技術又戦闘機、攻勢  
ニ他ニ記載セラル。
- (十) VF戦闘機、VSB偵察爆撃機攻勢ニ使ハレ  
模範ナリ。

二、敵ノ主任艦船地域ニ於テ極大ニ重大ナル打撃  
ヲ被リタリト見ルハ、小官、慎重考慮見解ナリ。  
該戰鬥、小官、知ル限リ、合衆國航空母艦、  
攻勢戰鬥史最モ初、例ナリ。エニ「フ」ア「ス」  
ノ事績ハ、正等航空母艦ニシテ適切ニ使用セラ  
ルニ際シ、結果ニ関シテ従前ヨリ優カシクハ、  
希望ヲ止メスニモナリ。本戰鬥、又同様、今迄戰爭ニ  
於テ太平洋艦隊機動部隊ニ依リテナシ、最モ初、  
攻勢戰鬥ナリ。其結果、之ヲ証明ス。小官、是  
等戰爭ニ於テ、第一、我部部隊ヲ指揮セシ光  
榮ヲ誇リ、且ツ感謝スルモノナリ。

ダブリュウ エフ・ハゼイ